

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市まちづくり基本方針策定委員会
開 催 日 時	令和3年11月4日（木） 午前9時30分から午前11時30分
開 催 場 所	301会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：大沢委員長、岡村副委員長、青木委員、国井委員、 圓地委員、三上委員、大塚委員、永田委員、町田委員、 檜山委員、白濱委員、竹市委員 事務局：都市計画課長、同課係長（計画係）、同課係長（開発・住宅係）、同 課主事（計画係）、同課主事（開発・住宅係） 欠席者：須藤委員、荒幡委員、栗原委員、高橋委員、大野委員
報 告 事 項	1 本日の策定委員会の内容説明 2 第2回策定委員会の御意見への対応について
議 題	1 武蔵村山市まちづくり基本方針（素案）について ア 武蔵村山市まちづくり基本方針の策定目的について イ まちづくりの目標について ウ 分野別方針の見直しについて エ 地域別方針の3地域区分について 2 その他
結 論 <small>（決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）</small>	議題1 以下の内容について、修正を行う。 (1) 資料2、P15、多摩都市モノレールの延伸想定図とバスルート図に多摩都市モノレールの延伸路線を追加する。 (2) 資料2、P22、市の課題とまちづくりの方針、まちづくりの目標の関係性が明確にわかるよう修正する。 (3) 将来都市構造に3地域区分の説明について記載する。 以下の内容について、検討を行う。 (1) 本市の課題についてカーボンニュートラルや市の財産である狭山丘陵等の自然環境について記載するか検討する。 (2) P29からP30、都市核、サブ核に設定されていない2駅を将来都市構造に位置付けるか検討する。 (3) 今後の課題として、関連計画の策定について記載するか検討する。 (4) 分野別方針について関係各課と引き続き調整する。 (5) 宅地化農地の保全、活用等について記載内容を検討する。 議題2 次回策定委員会は令和4年1月上旬に開催予定（日時は後日通知）。

<p>審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)</p> <p>[凡例] ◎：委員長 ○：委員 ●：事務局</p>	<p>【報告事項1】 特になし</p> <p>【報告事項2】 特になし</p> <p>【議題1 ア】</p> <p>◎ P2 上位計画の整理について、バスなどの公共交通関係の計画は策定しているのか。計画があれば追加記載した方がよい。</p> <p>● 公共交通に関する計画はない。</p> <p>◎ P15 下段の図にモノレールの延伸想定図とバスルートと題名表記されているが、モノレールの延伸ルートが記載されていない。</p> <p>● 追加、記載を行う。</p> <p>◎ P4、P22、武蔵村山市の人口は、今後1万人増える想定だが、令和2年度国勢調査の人口は減少している。多摩都市モノレールの延伸などによって人口が増加するという想定だと思うが、日本全体として夜間人口が減少している状況で、人口が増加するという論理展開をどのように立てるのか。すでに市の他の計画等で増加すると示しているのであれば、それを否定するものではない。</p> <p>コロナ禍の在宅勤務等によって、昼間人口が増加している都市が多く昼間人口についても言及した方がよいのではないかと。昼間人口が増える都市が今後魅力的になるのではないかと。そのために市として何を行うかが重要だと思う。その点について検討していただきたい。</p> <p>また、夜間人口として、区画整理や都営村山団地の建て替え等の計画人口を踏まえた値になっているのか確認してほしい。</p> <p>● 検討する。</p> <p>○ 観光等に力を入れるような記載もあるので、昼間人口に加えて交流人口の記載についても検討してほしい。</p> <p>課題設定が5点ある中で、カーボンニュートラルの話が入っていない。公共交通にシフトしていくことが今回の大きなテーマであり、ライフスタイル以外の観点からの課題として説明ができるため記載について検討してほしい。</p> <p>● 検討する。</p> <p>◎ 他にも抜けているキーワード等があれば、委員の皆様から意見を頂きたい。</p> <p>○ P22、歴史的環境の保全や農地の保全など、地域の宝として何を大切にしていくのかという部分は課題に追記するのか。基本的なものであるため、あえて課題として取り上げていないのかどうか。</p>
--	--

- 地域の宝としてまちづくりの目標に「みどり」をキーワードとして記載している。狭山丘陵や武蔵野の緑を生かして魅力を発信していくという意味である。御指摘のとおり、課題への記載を検討する。
- カーボンニュートラルの記載の後に農地の保全や狭山丘陵の緑地の保全について記載する方法や、課題4に歴史的な環境を保全するといった記載ができると思う。記載場所等について工夫してほしい。
- ◎ 今挙がっている課題は、マイナスをプラスに変えるような内容であるが、もともとあるプラスの部分も維持していくことが望まれている。担保や維持していくといった部分は、都市計画上も重要である。追記の検討をしてほしい。
- ◎ 用語が章ごとで統一されていないため修正すること。
- 承知した。

【議題1 イ】

- P22、市の課題として課題1から5をまとめて、その後にまちづくりの基本方針となっているが、課題と基本方針の対応が分かりにくい。課題と基本方針の順番を含めてわかりやすい方がよいと思う。
人口問題として、若者について記載されているが、課題として高齢化についても記載しているため、基本方針に記載した方がよい。
- 課題と基本方針の並びや表現がリンクしていない箇所が見られるため整理する。
- ◎ 素案が別々のページになっていてわかりにくいといった可能性もあるため、A3の1ページに横並びにして整理した方がよいのではないか。
- ◎ 参考資料1の説明はないのか。
- 議題1エにて説明させていただく。
- まちづくりの目標の3案について、狭山丘陵のみどりは共通している。将来都市構造の部分では、市の重要な宝であるみどりを生かすといった部分が弱いように感じる。都市軸となる多摩都市モノレールと既存の宝である「みどり」をどのように連携させてそれぞれの核や地域区分の縦割りについて、もう少し深めていく必要があると思う。
都市軸、都市核、サブ核だけではなく、プラスして既存の宝であるみどりをどのようにつなぐのか検討してほしい。
- 御指摘のとおり、「みどり」をどのように生かしていくかといった部分が弱いように感じるため、再度表現について検討する。
- まちづくりの目標3案のキーワードやキャッチフレーズについて、複合的にみて意見を頂きたい。

- ◎ まちづくりの目標は20年後を見据えている。20年後を見据えたい。えで、皆様の意見を頂きたい。
- 目標案は3つ出ているが、今回のまちづくり基本方針の中で大きな話として、モノレールの駅を中心に3地域に分けるということだと思う。今後20年かけて3地域区分での都市構造へ変えていくということであれば、それが分かりやすい目標がよいのではないか。それを踏まえると個人的には案2がよいと思う。
- 将来都市構造のプランのベースは多摩都市モノレールの延伸が見えてきたからだと思う。非常に希望や期待を感じる。自身の居住地には鉄道駅があり、それが当たり前だと思っていた。駅が都市の核としての役割をしているが、武蔵村山市に関わるようになり、駅がないことに疑問を持っていた。駅ができることで一つのまちの形成ができていくと感じる。
 今回の将来都市構造の中で駅を中心とした都市の構造は前向きでとても良い提案だと思う。観光まちづくり協会の狙いも、地域の地名度を上げるための方策によって定住人口を増やすこと、それに伴う交流人口を増やすという2つを目標としている。その実現のためにも今回のような将来都市構造を示していただいたことはとても期待が持てる。
- ◎ まちづくりの目標の中でももう少し人の活動が見えるとよい。例えば、農業と仕事が両立できるようなライフスタイルを見せるなど。
- ◎ もう少し人の幸福像が見えるような都市像が描けたらよいのではないか。モノレールができたことで買い物が活発になるというように、私事活動が見えることが交流人口や定住人口の増加につながると思う。幸福度が見える文言が一言あってもよいと思う。
- ◎ サブ核はモノレールの新駅ができる2箇所を設定しているが、4箇所ではなくてよいのか。モノレールを作る側からすると、今回サブ核に位置付けられていない2駅については何をしてくれるのか疑問になるのではないか。あえてサブ核を2つにした理由は何か。場合によってはもう少し違う階層で位置付けてもよいのではないか。
- サブ核が2つの理由は、長期総合計画で東の玄関口、西の玄関口としてサブ核を位置付けてきた。東は都営村山団地の建て替えが行われており、その北側には創出用地という未利用地がある。西は瑞穂町と隣接しており、南側では住宅開発もされている。モノレールができたときにはそういった方々が利用できるような駅周辺のまちづくりをしていかなくてはいけない。東と西の顔として位置付けている。
 残りの2つの駅は核に位置付けてないが、駅周辺のまちづくりについて検討していかなくてはいけないと考えている。核として表現していな

いため、何もしないようになってしまうが、今回のまちづくり基本方針でも記載していきたいと思っている。核にするかという点や表現については検討する。

◎ 他の2駅に対してまちづくりを何もしないと思われぬように気を付けてほしい。都市と交通は一体であるため、交通ができる場合は都市計画でも何か示した方がよい。

○ モノレールができた場合、多くの人が市に訪れる可能性があるため、交流や観光の話を強めに出してもよいのではないか。それが狭山丘陵といった市の宝を活用してくことにもつながる。現在の市の観光状況などについて状況把握ができていないが、今後20年の中で武蔵村山市の中で大切にしていくところなのかもしれない。

観光まちづくりや観光振興計画等はあるのか。分野別方針にも観光の話が入っているため、全体としても記載した方がよいのではないか。

● 観光に関する計画はないが、先日観光まちづくり協会が発足した。今後具体的な動きがあると思われる。

【議題1 ウ】

○ 新青梅街道、青梅街道を含め道路の歩道環境が良くないと感じている。道路・交通環境の整備方針に書かれていないが、モノレールの駅ができると、南北の移動が想定される。立3・5・36号や立3・5・37号、所沢武蔵村山立川線、立3・4・40号、瑞穂町寄りの道路、これらの道路の歩道について示されていないことが気になった。モノレールの駅を中心とした人の動きを踏まえて記載してほしい。前提となるのは、道路の歩道が整備されていないということである。

● 参考資料4、P3で歩きやすい歩道づくりとして方針を出しており、地域区分として東、中央、西といった縦に地域を区分することを考えている。来年1月以降の話になると思うが、地域別構想にて具体的な道路の整備について記載していきたい。分野別方針についても、どのくらい記載するか検討する。

◎ 重点的に整備する道路について位置付けた方がよい。また、区画道路レベルで自動車交通が少ない道路をネットワークとして活用することによって歩行者の安全につなげる。作ることも重要だが、財政的な観点から見て今ある道路の再整備による活用といった視点を持つのも今後重要となる。

○ 将来都市構造を明確に出されているため、それとの関係性がわかるとよい。核や軸に対して課題や方針が紐付き、空間的に位置付けられるとよい。都市構造を念頭に置いた記載の仕方、表現の方法について検討してほしい。分野別方針は個別内容になってしまうが、それを統合する都

市構造にどのように紐付いてくるのか留意して記載してほしい。

- 都市構造との紐付けについて表現を検討する。
- 分野別方針の別部署の話が薄いように感じる。例えばライフラインや観光の部分など。

また、景観・環境まちづくりの方針で、見直しのポイントに美しいまちなみへの誘導の内容が少なく、環境に配慮したまちづくりの話がないため追記してほしい。
- 他部署に関する表現が薄い部分もある。参考資料4は、あくまで参考資料であるため、最終的には資料2 P 33からが本編として最終版となる。分野別方針の記載の内容について、次回までに調整して内容を充実させる。
- ◎ 参考資料4、P 3、(4)モノレールなどの公共交通機関の充実の、“駅間駐輪場”とはなにか。駅と駅の間にある駐輪場なのか。

公共交通(バス)を利用しない理由の一つとして、バス待ち環境がひどいという点が挙げられる。バス待ち環境が悪いと、雨の日などはバスではなく自家用車を利用する人が多くなる。バスを運行することに意識がいてしまいがちであるが、公共交通の利用促進のためにも、モノレールの記載だけではなく、バス待ち環境についても検討してほしい。例えば、民地の利用(コンビニ、観光施設など)など。都市計画の中で記載していくべきである。

参考資料4、P 5、安心・安全まちづくりの方針で、“狭山丘陵の土砂災害警戒区域からの移転促進”とあるが、開発させない、という記載はしないのか。市街化調整区域の開発の扱いについて、都市マスで位置付けた方がよいので検討してほしい。
- 承知した。
- 道路・交通環境の整備方針で、バスルートの見直しとあるが、モノレールができたときにバスルートの全面的な再編が起きる。場合によっては、「バスルートの再編」としっかり書いた方がよいのではないか。
- バスルートの再編の表現について、上位計画で記載するのは重要と考える。関係各課と調整する。
- ◎ 都市マスに明記しておいた方がよい。場合によっては課題として地域公共交通計画の作成等を記載するか検討してほしい。
- 景観・環境のまちづくり方針に、都市核やサブ核が位置付いていない。駅前広場等の景観をどう考えていくかを事前に示した方がよい。武蔵村山市では景観計画を策定しないという方針なのか。狭山丘陵は届出があるようだが、全市的にやらないのか。

- 現時点では、計画はなく策定する方針はない。現在、みどりの基本計画の策定作業中であり、その中の景観の部分についてみどりの「質」向上について記載を進めている。同じタイミングで計画書が切り替わるため、内容について調整したい。
 - 景観計画を策定しないという判断は、誰がしているのか。今後、駅前や沿道の景観づくりといった都市型の景観形成が重要である。そこも踏まえて、計画策定について検討した方がよいのではないか。
 - 沿道の景観についても検討しなくてはいけないと思っている。景観計画についてどのように記載するか検討する。
 - ◎ 都市マスの中で策定するかどうかは決められないが、景観計画等で景観ルールを作っておかないと街の景観を壊してしまう可能性がある。今後検討する項目として記載してはどうか。次のステップの段階として必要かどうかは、計画書の中の今後の課題として挙げて、策定後に検討してほしい。計画の策定をしないのであれば、記載できるか検討した方がよい。
 - ◎ P 4、公園・緑地等の整備方針に“宅地化農地の保全”とあるが、生産緑地は今も新規で指定しているのか。市内農地の何割なのか。宅地化農地は、活用ができるので、保全だけではなく活用についても記載した方がよいのではないか。
 - 新規で生産緑地の指定はしている。具体的な数値はないが、感覚としては約8割、特定生産緑地に指定しようと考えている人はその中の7割程度である。記載方法について検討する。
- 【議題1 エ】
- ◎ 車を中心としたまちの根拠について、パーソントリップ等を用いて、どのくらいが目的別の自動車利用があるのかを確認してほしい。現在車利用している人の中で、どのくらいがモノレールを利用する可能性があるのか。客観的なデータを示してほしい。
 - 検討する。
 - 資料2、P 32、将来都市構造図があり、そのあとに地域別の地域区分が示されるのか。素案を見ていると、将来都市構造の後に切れてしまうように見える。リンクさせられるような形になるのか。
 - 3地域区分の記載について検討する。
 - ゾーンと地域区分の関係性が分かりにくい。ゾーンは特徴のある土地利用をゾーニングしていると思うが、3地域区分とロジカルに説明できるのか。P 28には、南北の3地域区分が概念図として出ている。どの段階で3地域区分に分けるという記載をするのか検討してほしい。

	<ul style="list-style-type: none"> ● 検討する。 ◎ 市民の方に説明するときは、事例を含めながら駅中心のまちづくりについて優位性や持続性など、丁寧に説明した方がいい。場合によってはコラムでもよい。イメージがつかないかもしれない。公共交通を軸にした都市の持続性について、説明する項目があった方が、将来都市構造や地域区分について理解しやすいのではないか。 ● 承知した。 ◎ 都市構造で半径500mを徒歩圏としているが、その根拠を説明した方がよいではないか。例えば、半径500mは徒歩何分なのか。半径500mの意味を説明した方がよい。武蔵村山市民はどのくらいの移動距離で車を利用しているのか調べたうえで、どの範囲を歩いて暮らせるまちとするのかを示した方がよい。 ◎ 閉会後の意見については、11月12日(金)を目途に事務局に連絡してほしい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 次回策定委員会は、令和4年1月上旬を予定している。本日頂いた意見を基に、全体構想の見直し案と住民説明会についてお示ししたい。詳細な日程は、確定次第開催通知にてお知らせする。 <p style="padding-left: 40px;">本日の議事録は、事務局にて案を作成したのち、皆様に郵送・メール等で御確認いただく予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： <u> 2 </u> 人
-------------	---	-------------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	都市整備部 都市計画課 計画係 (内線：272、274)
-------	------------------------------

(日本工業規格A列4番)